

9 平成 23 年度 事業のまとめ

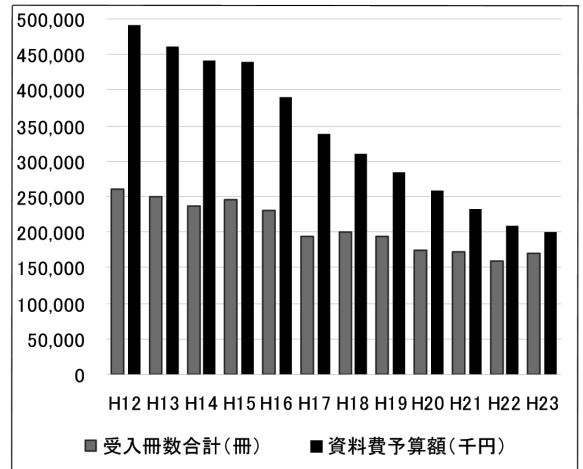
(1) 司書の専門性を発揮したサービスを進展させました

ア 蔵書再構成5か年計画の実施

(ア) 参考図書や需要の多い定番図書など市民の課題解決に役立つ資料を重点的な収集

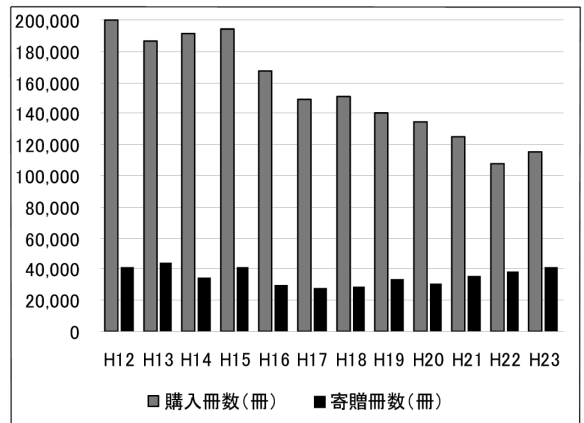
平成 22 年度に策定した「蔵書再構成5か年計画」に基づき、市立図書館全体の蔵書の見直し・補強の取組を推進しました。

平成 23 年度については、図書館ごとの年間収集計画により効率的な収集を実施したほか、平成 22 年度に引き続き定番図書や参考図書の補強を積極的に行いました。参考図書の受入冊数は、対前年度比で約12%増加しました。



(イ) 寄贈図書の受入れの強化

図書館では、財政状況が厳しい中、人気作家の小説や話題書、ロングセラーの児童書、郷土資料などを中心に図書の寄贈を募り、蔵書の充実に努めています。平成 22 年度から、横浜市職員に対しても図書寄贈の呼びかけを実施し、平成 23 年度には 1,974 冊の寄贈がありました。また、平成 21 年度に発表した「ヨコハマの子どもが選んだ 150 冊」掲載図書を対象に、市民の皆さま及び企業・団体等の皆さまからの寄贈を継続して募り、たくさんのご協力をいただきました。



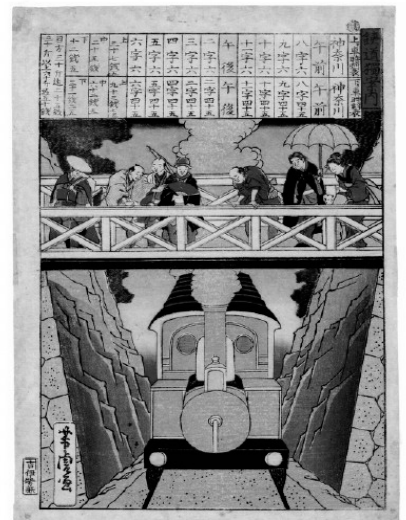
(ウ) 電子図書館「都市横浜の記憶」の充実

中央図書館では、貴重資料のデジタル化を継続的に進め、電子図書館「都市横浜の記憶」の内容の充実に努めています。平成 23 年度は、浮世絵や図書資料など約 1,200 点を追加し、ウェブ上で閲覧できるようにしました。また、国立国会図書館が提供する横断検索サービス国立国会図書館サーチ(平成 24 年1月正式稼働)と連携を開始し、より多くの方に「都市横浜の記憶」で公開している資料を閲覧する機会を提供しています。

イ 子どもの読書活動の支援

(ア) 横浜市立図書館児童サービス5か年計画

平成 23 年3月に策定された児童サービス5か年計画に基づき、家庭における読書活動と、家庭・地域・学校との連携を推進しました。保護者や保育者への支援として、絵本の選び方や読み聞かせの方法を伝える講座を実施しました。また、市内の幼稚園においては幼稚園協会を通じて組織的に連携を進め、幼稚園教諭を対象とした講座などを実施しました。図書館では、子どもと保護者がともに参加し、家庭における読書への興味を深めることができる企画事業を実施しました。なお、事業の実施については、方面別ブロック内で相互に協力して取り組みました。



《都市横浜の記憶》追加資料より
「鉄道独案内」
(神奈川・芳虎・1872)

(イ) 学校教育及び学校図書館への支援

市立図書館では、学校連携事業として学校教育への協力と子どもに身近な学校図書館充実への支援を行っています。平成 23 年度は、市立図書館を十分に活用していただけるよう、全館で「学校向けプログラム」を作成して学校に配布したほか、横浜市教職員用サイト Y・Y NET「Teacher's Room」内の市立図書館のページを活用し、学校連携事業に関する情報発信に努めました。教職員やボランティアに向けた支援を中心に行い、特に学校図書館の環境整備に関する相談や研修が増えました。

【平成 23 年度学校連携事業実績】〔()内は平成 22 年度実績〕

実施内容	延実施回数		延利用人数又は冊数	
調べ学習	25 回	(58 回)	476 人	(615 人)
図書館見学	282 回	(359 回)	9,307 人	(8,545 人)
読み聞かせ・ブックトーク	130 回	(129 回)	6,567 人	(8,209 人)
職業体験学習・職業インタビュー	252 回	(253 回)	1,013 人	(862 人)
教職員向け研修・レファレンス等	322 回	(330 回)	3,854 人	(3,409 人)
ボランティア向け研修・相談	208 回	(171 回)	2,403 人	(1,989 人)
教職員向け貸出	1,112 回	(852 回)	27,975 冊	(21,837 冊)
セット貸出	88 回	(37 回)	3,120 冊	(1,420 冊)

(ウ) 具体的な取組

はまっ子読書フェスティバル

11 月第 1 金曜日の「はまっ子読書の日」に続く、11 月 5 日(土)・6 日(日)に、教育委員会指導企画課との共催で、「はまっ子読書フェスティバル」を開催しました。中央図書館では、「いっしょに読もう、本の世界を楽しもう」をテーマに、特に家庭・地域での子どもの読書活動を支援するための事業を行いました。地域図書館でも、子どもの読書に関する様々な事業を実施しました。

中央図書館では、学校での読書活動を紹介する「はまっ子読書サミット」が行なわれました。また、子ども向けには「ブックトークを聞いてみよう！」を、子どもを取りまく大人向けには、読み聞かせに関する講座を実施しました。さらに、絵本作家の西巻茅子さんをお迎えして、「こどもー絵本ーわたし」と題した講演会を行い、多くの保護者、ボランティアの方々にご参加いただきました。



はまっ子読書フェスティバル「親子でいっしょに読み聞かせミニ講座」(中央図書館)

おはなし会

家庭における読書活動を支援するために、おはなし会を通じた読書推進活動を行いました。乳幼児・未就学児・小学生向けにおはなし会を実施したほか、親子で参加しやすい土日にも実施しました。また、大人にも読み聞かせの楽しさを感じていただくため大人向けおはなし会(中・磯子・緑・山内・瀬谷図書館)も行いました。

さらに、地域との連携を図り、保育所・幼稚園などに出向いての出張おはなし会、福祉保健センター主催の4か月児健診などの待ち時間中に、健診に参加した親子に向けて絵本の読み聞かせも行いました。

子どもの「調べもの」支援

子どもが自分自身で調べられるよう、調べ方講座を実施し、図書館を活用した調べ方の案内をしました。また、調べ方を解説したパネルと調べものに役立つ資料の展示も行いました。子どもが自ら調べる力をつけるための手助けとして、平成 21 年度からパスファインダー（調べものに使える本と調べ方の案内）「横浜探偵団」を作成していますが、平成 23 年度は児童向けに3号、ティーンズ向けに2号を新たに発行しました。

【パスファインダー「横浜探偵団」(平成 23 年度発行分)】

■児童向けパスファインダー

第8弾	～ごみ・リサイクル～
第9弾	～食べものができるまで～
第10弾	～いろいろな国のくらしと文化～

■ティーンズ向けパスファインダー

第3弾	～図書館の達人になろう！～
第4弾	～図書館の達人になろう (Part 2) ～

(エ) 家庭・地域での子どもの読書の支援

家庭や地域における読書活動を支援するため、子どもを取り巻く大人の方に向けた読み聞かせ講座を計 75 回開催しました。保育所、各区の子育て支援拠点などへ司書講師を派遣することにより、市民に身近な場所での講座も開催しました。

【平成 23 年度読み聞かせ講座 対象別実施状況】

対象	回数	参加人数
ボランティア向け	40 回	1,104 人
保護者向け	26 回	726 人
幼稚園・保育園・ 放課後児童クラブ指導者向け	9 回	434 人

(オ) 読み聞かせ等ボランティアの養成・支援

地域や学校で実施する読み聞かせなどの活動を支援するため、ボランティアに向けた講習を実施しました。具体的には、絵本の読み聞かせや、図書修理などの講座を計 72 回実施しました。また、方面別ブロックの取り組みとして、西部ブロック(保土ヶ谷・旭・泉・瀬谷図書館)で合同講座を開催しました。

そのほか、地域で読書に関する活動を行うボランティアグループ向けの図書の貸出も行いました。

【平成 23 年度ボランティア向け講座 実施状況】

ボランティア向け講座内容	回数	参加人数
読み聞かせ	40 回	1,104 人
図書修理	15 回	161 人
わらべうた	14 回	285 人
図書室環境整備	2 回	131 人
ブックトーク	1 回	14 人

ウ 市民の学習活動・課題解決の支援

(ア) 市民の調査研究への支援

図書館では、カウンターや電話、E メールで毎日多くの方から問合せや相談を受け、必要な図書や情報を探し出すお手伝いを行っています。

横浜市中央図書館サービス課 平成24年2月発行

キミも調べもの名人にならないか？

よこはまだんていだん
横浜探偵団
NO.14

だいじゅうだん
第十弾 いろいろな国のくらしと文化～

ほかの国のことって知ってる？
ことばや食べもの…調べてみよう！

世界中には、いろいろな国があります。中国、韓国、アメリカ、イギリス、ドイツ、インド、南アフリカ…ほかの国と日本ではどんなちがいがあのでしょうか？
たとえば、私たちが毎日食べるお米。ほかの国でも、同じようにお米を食べているのでしょうか。食べもののちがいが、それぞれの国の生活のちがいをわかります。
食べもののほかにも、ことばや家など、いろいろな国の様子を調べてみましょう！

まずは、どんなことばを使って調べたいか、「いろいろな国のくらしと文化」につながることば、つまり「キーワード」を考えてみよう！
考えたキーワードを使って、けんさくまで図書館の本をさがしたり、インターネットでけんさくしたりしてきましょう。
この「横浜探偵団」にのっている本も調べるとき役に立ちます。

調べるためのキーワード
世界・食べもの 世界・祭り…？
調べたい国が決まっている時は、その国名をキーワードにしてみよう！
アメリカ 韓国・ことば

「けんさくき」
本をさがすためのきかいです。
本の題名や、書いた人からさがせます。

はじめに、参考図書コーナーにある百科事典や、図鑑でキーワードを調べてみましょう。

ラベルの記号	本・シリーズの名前	書いた人など	出版社	出版年	書誌番号
参考03	ボプラディア 世界の国々(「ほか」) 総合百科事典	杉山七(ほか)監修	ボプラ社	2011	
29	世界の国々に探検大図鑑	正井寿夫・辻藤美子・植野香 監修	小学館	2005	204088851

「パスファインダー第10弾」より
パスファインダーは市立図書館ホームページで
公開しています

国立国会図書館「レファレンス※共同データベース」への事例提供

図書館に寄せられた多くの質問の中から、ほかの方が調べる際にも参考になりそうな事例を国立国会図書館「レファレンス共同データベース」(国立国会図書館が全国の公共図書館等と共同で構築しているデータベース)に提供しています。平成23年は事例提供数が1,928点、アクセス数が230,647件に及び、平成22年に引き続き、国立国会図書館から「御礼状」をいただきました。

※レファレンス……利用者の調べものや資料の相談などに対し、図書館資料の紹介や提供、情報入手の補助を行うこと。

「調査のミカタ」シリーズの発行

所蔵目録や特定のテーマについて資料を紹介するテーマリストなどを、「調査のミカタ」シリーズとして発行しています。併せて、図書館ホームページ上の「調査のミカタ」にも掲載し、課題解決のための情報提供に努めています。

【「調査のミカタ」シリーズ(平成23年度発行または改訂分)】

■テーマリスト

ブックリストで紹介する G30 のその先へ ヨコハマ3R夢！
放射能ってなんだ！？—ニュースがわかる放射能の本—

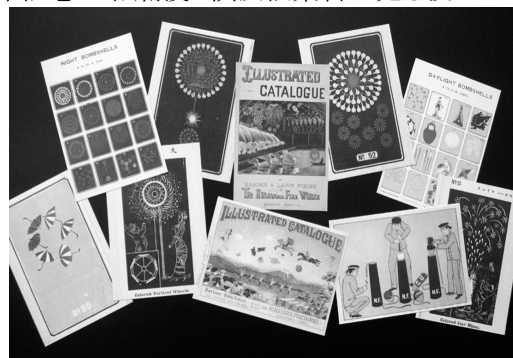
■所蔵目録

「法情報コーナー資料目録」

企画展示の実施

中央図書館では、所蔵している横浜に関する貴重なコレクションの企画展を毎年開催しています。平成23年度は、関東大震災・戦災を潜り抜けた中林梧竹の書作品を展示した「明治の書聖 中林梧竹の書」、明治16年日本人で初めて米国の特許を取得した平山甚太の功績を紹介する「日本人初の米国特許 横浜の花火師・平山甚太」、開港後の文化に溢れた横浜の風景や風俗を描いた「横浜浮世絵展」、明治期の絵葉書を通して当時の横浜の桜の風景を紹介する「日米桜交流 100周年記念～春爛漫 横浜絵葉書に見る桜～」を開催するなど、様々なテーマを積極的に取り上げました。開催にあたっては、市民団体や外部機関と連携をはかり内容を拡大・充実させることで、多くの方に関心を持って観ていただくことができ、ご好評をいただきました。

また、企画展に併せて、市内企業とのコラボレーション企画として所蔵資料をデザインした、オリジナルポストカード『平山煙火製造所昼花火絵入型録』も商品化されました。



ポストカードとして商品化された『平山煙火製造所昼花火絵入型録』の一部

「図書館・公民館海援隊」プロジェクト※への参加

平成23年度は、一年を通じて震災関連展示や、ホームページを通じた震災関連情報の提供を行ったほか、次の事業を企画・実施しました。

【平成23年度 図書館・公民館海援隊関連事業実施状況】

事業名(実施館)	実施期間または日程
地域のみinnで支えよう～認知症サポーター養成講座～(泉図書館)	9月25日
展示「認知症・介護予防について知る」(都筑図書館)	10月27日～11月28日
やさしい介護保険講座(港南図書館)	12月3日
未来の家族への手紙 遺言の書き方セミナー&相談会(中央・緑図書館)	中央:1月21日 緑:2月4日

※図書館・公民館海援隊プロジェクト……文部科学省の呼びかけにより、課題解決支援サービスの一環として、貧困・困窮者に対する支援などを実施している有志の図書館・公民館が集まったプロジェクトです。

ビジネス支援事業

中央図書館では4階「ビジネス資料コーナー」、「法情報コーナー」を中心に、企業名鑑や専門書、実務書など、ビジネスでお使いいただける資料を各種取り揃えているほか、3階「PCリサーチコーナー」では、新

聞記事や企業情報、業界動向を検索できるオンラインデータベースやインターネット用端末を設置し、ビジネスに役立つ情報を提供しています。

なお、平成 22 年7月から、横浜市のビジネス街であるみなとみらい地区にビジネス書等を積載して移動図書館の運行を開始しました。昼休みのビジネスパーソンを中心に好評をいただいております、ご利用も増えていきます。

(イ) 行政への支援(庁内情報拠点化事業)

平成 23 年度も引き続き、日常業務や新たな事業の企画立案等のために必要な情報に関するレファレンス、資料提供などを行いました。特に他都市の事例調査や、業務分野に関する最新の動向調査など、より専門的なレファレンスが増加しました。

また、平成 23 年度は、庁内ネットワーク上で「仕事に役立つ！ビジネス誌 最新号情報」と題して、毎週ビジネス誌の最新号の特集記事の紹介や、仕事に役立つ調べ方のヒントなどを紹介したコラム「めがせ☆調査の星」の掲載も開始し、業務に役立つ情報の提供を推進したほか、庁内情報拠点化事業推進のため、利用アンケートも実施しました。

【平成 23 年度庁内情報拠点化事業利用実績】[()内は平成 22 年度実績]

業務用資料貸出		レファレンス受付		ブックリスト作成	
対象区局数	利用実績 (冊)	対象区局数	利用実績 (件)	対象区局数	利用実績 (件)
40(45)	1,538(1,378)	38(39)	238(303)	3(1)	7(5)

【平成 23 年度ブックリスト作成実績】

リスト名	提供対象局
放射能ってなんだ！？ —ニュースがわかる放射能の本—	全区局
「石巻子ども学習支援隊」のための石巻と東日本大震災を知る本&サイト2011	教育委員会事務局
先生・学校関係者のための子どもたちを学校事故から守る 32 冊	教育委員会事務局
ブックリストで紹介する G30 のその先へ ヨコハマ 3R 夢！	資源循環局
新たに係長になった方にお薦めする本	総務局
新採用職員向けブックリスト 市政知識・時事知識を身につける	総務局
新採用職員向けブックリスト 働きかた・ビジネスマナーを身につける	総務局

エ 地域情報の収集・提供の推進

(ア) 地域情報の収集・提供の推進

図書館ごとに、地域の関係機関との連携や企画事業の実施などにより、地域資料の積極的な収集を推進しました。また、横浜に関連した資料の購入を進め、平成 22 年度比で約 28%購入冊数が増加しました。

(イ) 地域情報発信のための基盤整備事業の実施

市立図書館創立 90 周年記念事業の一環として「地域情報発信のための基盤整備事業」をモデル実施しました。この事業は地域情報の収集や、デジタル化を通じて地域情報を集積、発信できる仕組み作りを目指すものです。平成 23 年度は、地域図書館5館(鶴見・港北・緑・都筑・戸塚図書館)がモデル事業を計画・実施し、地域情報の収集・整理等を行いました。この資料はホームページに公開したほか、併せて講演会や写真パネル展示なども開催しました。



市立図書館ホームページ「丘のヨコハマ写真館」(平成 24 年1月公開)より

【平成 23 年度地域情報発信のための基盤整備事業実施状況】

実施館名	実施内容	ホームページ公開
鶴見	鶴見図書館ホームページの郷土資料紹介「鶴見を読む」に、資料を追加掲載しました。鶴見区の絵葉書や、鶴見臨港鉄道の昭和初期の路線図など、一部の資料は資料画像も掲載しました。	平成24年3月
港北・緑・都筑	3館合同で横浜市北部地域写真アーカイブ「丘のヨコハマ写真館」のページを横浜市立図書館ホームページに新設し、収集した写真画像データを掲載しました。ニュータウン開発など、移り変わる地域の様子を写真で紹介しています。	平成24年1月
戸塚	戸塚図書館ホームページに、新たに作成したテーマ別所蔵資料リスト「戸塚関連資料リスト」を掲載しました。	平成24年3月

オ 地域と連携した読書推進活動の充実

(ア) 地域の市民団体との連携・協働

図書館では、地域で活動するボランティア団体等と連携して地域の読書活動を支援しています。ボランティアの抱える課題を共有し、課題解決に向けた話し合いの場として「ボランティア交流会」等を平成 23 年度は 23 回開催しました。

(イ) 他機関(大学・研究機関・行政機関など)との連携・協働

サイエンス・カフェ

平成 23 年度に中央図書館では、第一線の研究者と市民が気軽に語り合えるサイエンス・カフェを、(独)理化学研究所横浜研究所、(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)などの研究機関と連携して7回実施しました。その際、講義に関連する資料を集めたコーナーを会場内に設けて、資料のリストを作成・配布しました。これらの事業は、図書館からの情報発信の機会として、また図書館資料の関心を喚起する機会として実施しています。



サイエンスカフェ
「ミツパチから見えるつながりのカタチ」(中央図書館)

「トリエンナーレを図書館で！」

中央図書館では「ヨコハマトリエンナーレ 2011」の開催に合わせて「トリエンナーレを図書館で！」というイベントを実施しました。このイベントは横浜美術館のワークショップの一環で、市民参加者と共に展示を作成するなど、市民参加型のイベントとしてご好評をいただきました。

森の中のプレイパーク事業

子どもの調べ学習支援として、環境創造局みどりアップ推進課と共催で、森の中のプレイパーク事業を7館(神奈川・南・港南・保土ヶ谷・旭・金沢・都筑図書館)で実施しました。戸外での自然観察の後、図書館に帰って調べ学習を行いました。



「森の中のプレイパーク事業」
(都筑図書館)

カ 多文化サービスの展開

国際都市横浜の形成と、多文化共生の地域づくり支援のために多文化サービスを推進しました。

具体的には、外国籍や外国につながりを持つ子どもたちが母語で楽しめるおはなし会(磯子・金沢・港北図書館)や多文化理解をすすめるおはなし会(中央・中・泉図書館)のほか、外国につながりを持つ児童生徒向けの通訳付き図書館見学会(中央図書館)や、市民との協働で実施した世界の国々を紹介する展示、ブックトークなどを実施しました(中央・中図書館)。そのほか、鶴見区多文化共生推進アクションプランに関連する図書の展示(鶴見図書館)、多文化に関する講演会などを行いました(南・磯子図書館)。

キ 市民協働の推進

引き続き市民参加の仕組みづくりを進め、平成 23 年度には、全館でボランティアとの協働によるおはなし会を実施することができました。また、本の修理、書架整理などの運営面でも多くの図書館ボランティアが活動しています。図書館ボランティア養成講座のほか、スキルアップ講座も開催し、ボランティアの活動を継続的に支援しました。

さらに自主企画事業においても、地域の方々の知識や技術を発揮していただくことにより、地域の歴史散策(中央・南・旭・瀬谷図書館)や写真や作品の企画展示(中央・旭図書館)、絵手紙講座(泉図書館)、影絵上映会(神奈川図書館)など多彩な企画を開催することができました。

さらに地域図書館 17 館で利用者会議等を計 56 回開催し、図書館の運営や企画事業などについて参加者からご意見をいただくことができました。



修理ボランティアによる図書修理の様子(中央図書館)

【平成 23 年度ボランティア活動実績】 [()内は平成 22 年度実績]

活動内容		活動館数	活動延人数	延件数または延日数	備考
おはなし会	司書との協働	15 館(11 館)	—	352 件(253 件)	おはなし会参加者総数 9,483 人(4,041 人)
	ボランティアのみ	13 館(12 館)	—	355 件(264 件)	7,348 人(6,094 人)
図書修理		13 館(11 館)	3,611 人(2,130 人)	602 日(422 日)	総修理冊数 13,038 冊(8,073 冊)
書架整理		6 館(4 館)	2,079 人(482 人)	739 日(184 日)	
環境整備		2 館(3 館)	182 人(215 人)	150 日(180 日)	(内容)生け花の展示等
自主企画事業		6 館(8 館)	238 人(176 人)	58 件(59 件)	(内容)検索機講座、事業運営
その他		3 館(3 館)	75 人(38 人)	16 件(12 件)	(内容)友の会活動等

【平成 21～23 年度利用者懇談会等実施状況】※懇談会設置前の事前準備のための開催を含む

図書館名	懇談会名称(設置年月)	開催回数(回)			図書館名	懇談会名称(設置年月)	開催回数(回)		
		平成 23	平成 22	平成 21			平成 23	平成 22	平成 21
鶴見	鶴見図書館利用者・団体懇談会(平成 23 年 2 月)	1	1	—	港北	「港北図書館友の会」と図書館の連絡会(平成 22 年 6 月)等	13	10	—
神奈川	神奈川図書館懇談会(平成 22 年 11 月)	2	1	—	緑	未設置※各種ボランティアの連絡会に随時参加	5	2	1
中	中図書館書架整理ボランティア懇談会(平成 23 年 7 月)	1	1	—	山内	利用者フォーラム(平成 22 年 7 月)	2	2	—
南	南図書館を囲む会(平成 23 年 6 月)	2	1	—	都筑	都筑図書館から未来を描く協働の会(仮称)(平成 21 年 5 月)	12	10	11
港南	港南図書館懇談会(平成 21 年 12 月)	1	1	1	戸塚	戸塚図書館利用者懇談会(平成 22 年 3 月)等	3	1	—
保土ヶ谷	保土ヶ谷図書館懇談会(平成 23 年 2 月)	1	1	—	栄	栄図書館懇談会(平成 22 年 6 月)	2	2	—
旭	旭図書館応援隊(平成 23 年 5 月)	1	1	—	泉	いいところづくり委員会(平成 22 年 6 月)	3	4	—
磯子	磯子図書館利用者懇談会(平成 22 年 10 月)	2	2	—	瀬谷	瀬谷図書館利用者懇談会(平成 22 年 9 月)	2	3	—
金沢	金沢図書館懇談会(平成 23 年 1 月)等	3	1	—	計		56	44	13

(2) 効率的で効果的な図書館の管理運営を推進します

ア 地域図書館の管理運営手法の総合的検討

これからの市立図書館には、地域の情報拠点として、市民自らが課題解決を図るために必要な資料・情報の提供やその調査の支援、子どもの読書活動への支援や学校を含む地域との連携の推進など、司書職員の専門性を発揮した質の高い図書館サービスの提供が求められています。また一方で、図書館経営については、厳しい財政状況を踏まえて、これまで以上の効率的な管理運営も不可欠です。

こうした課題に対して、平成 22 年度の山内図書館指定管理者制度の導入や、平成 23 年度の都筑・戸塚両図書館の司書補助業務の委託化を進めてきましたが、今後は、これらの館の「サービス向上と管理運営の効率化」について具体的な検証を通して評価し、平成 25 年度を目途に、地域図書館のより良い管理運営のあり方、方向性を検討していきます。

イ 財源確保のための取組(広告事業)

平成 23 年度の図書館広告事業による歳入額は、過去最高(570 万円)となりました。

主な理由はホームページの「バナー広告」による広告料収入が過去最高であった平成 22 年度を上回ったこと、平成 22 年度は3館であった「広告入り玄関マット」の設置を、平成 23 年5月から中央図書館を含む 16 館としたことなどです。「広告入り玄関マット」は、設置に係る費用もすべて広告代理店が負担しています。吸塵・吸水機能を備えたマットを定期的に交換することにより、図書館の美化向上にも役立っています。

市立図書館では、引き続き広告事業等により、自主財源の確保に努めるとともに、管理運営経費の節減に積極的に取り組みます。



広告入り玄関マット(中央図書館1階入口)

ウ 身近で便利な図書館サービスの充実

区役所連携事業として平成 17 年 12 月に開始した図書の貸出・返却取次サービスを引き続き実施しています。平成 23 年4月から二俣川駅・東戸塚駅の行政サービスコーナー内の図書取次コーナーが、横浜市立図書館情報システムとオンラインでつながり、登録の更新ができるようになりました。

【平成 23 年度図書取次サービス事業 利用実績】

区	場 所	実施内容	延利用数		
			利用者(人)	貸出(冊)	返却(冊)
旭	二俣川駅(相鉄線) 行政サービスコーナー	貸出・返却	38,617	60,613	95,529
戸塚	東戸塚駅(JR線) 行政サービスコーナー	貸出・返却	76,301	122,377	161,841
金沢	金沢文庫駅(京急線)※	返却ポスト			62,488
青葉	美しが丘西地区センター	貸出・返却	8,185	13,421	14,134
	大場みずが丘地区センター	貸出・返却	4,691	7,687	7,724
	奈良地区センター	貸出・返却	9,159	15,248	18,400
	藤が丘地区センター	貸出・返却	11,744	19,757	16,879
	若草台地区センター	貸出・返却	8,435	14,328	13,275
	田奈ステーション (区民交流センター内)	貸出・返却	7,670	12,538	11,858
	青葉台コミュニティハウス	貸出・返却	9,308	15,782	11,193
	市が尾駅(東急線) 青葉台駅(東急線) たまプラーザ駅(東急線)	返却ポスト			177,026
図書取次サービス事業総計			174,110	281,751	590,347

※金沢区・金沢文庫駅の駅図書返却サービス事業は、金沢区の方針により平成 24 年 3 月 31 日をもって終了しました。

エ 交通拠点での図書館サービス機能強化事業

「横浜市教育振興基本計画」に基づく「市民に身近で便利な図書館サービスの一層の充実についての検討」に際しては、現在、二俣川駅、東戸塚駅の2つの行政サービスコーナーで実施している図書取次サービスが具体的な事例として参考となります。

しかし、この取次サービスは、「図書の貸出・返却」に限定されたサービスであるため、これからの図書館サービスとしては、「市民が生活の中で必要とするさまざまな情報を案内・提供」する機能を併せ持つサービス拠点が必要であると考えています。

平成 23 年度から、通勤や通学など市民生活上の動線となる交通拠点における、効果的・効率的な図書館サービス機能についての検討と調査を開始しました。

(3) 市民にとって利用しやすい快適な図書館づくりを進めます

ア 利用者の要望の把握(広聴事業)

平成 23 年度に「市民からの提案」などに寄せられた図書館に関する意見・提案は 247 件でした。主な内容は、件数の多い順に、ホームページの改善等に関すること(53 件)、駐車場の利便性向上など施設に関すること(34 件)、図書の予約に関すること(30 件)、図書の貸出・返却に関すること(30 件)、蔵書の充実・資料収集に関すること(21 件)となっています。

【平成 23 年度 図書館への意見・提案】

項目	内容	件数	主な意見・要望等
図書館の管理・運営に関すること	施設	34	駐車場の利便性向上、快適な空調
	図書館建設・充実	17	図書館の新設整備
	サービスポイント	10	地区センター等での図書取次の拡大
	開館日・開館時間	10	開館日・開館時間の拡大
	その他	53	ホームページの改善
図書館サービスに関すること	図書の予約	30	予約冊数制限の緩和
	貸出・返却	30	未返却利用者へのペナルティ
蔵書に関すること	蔵書充実・資料収集	21	学術書などの充実
	資料管理・書架管理	2	汚破損図書の確認・修理
	その他	7	寄贈図書の受入、視聴覚資料の提供
職員に関すること	市民対応	19	窓口や電話での対応の改善
その他		14	マナーが悪い利用者への対応の改善
合 計		247	

イ 広報活動

図書館情報紙「@L i b」を毎月発行し、図書館情報の発信に努めました。また、平成 23 年 4 月から各館で編集・構成したメールマガジンの発行を開始しました。配信は月 1 回で、各館ごとに特徴のある紙面作りを工夫しています。

また、全市的な取組であるホームページ作成のためのシステム導入に伴い、平成 23 年 12 月から各図書館で迅速にホームページの更新ができるようになりました。これを受けて各館でコンテンツの充実に努めるとともに、鮮度の高い情報を積極的に発信できるよう、ホームページの運営方法を改善しました。

自主企画事業等の広報は記者発表などを通じ、積極的な情報提供に努めました。記者発表件数は 52 件（平成 22 年度 54 件）、新聞・ミニコミ誌・ラジオ・地域ケーブルテレビ等のメディアで報道された件数は 359 件（企画運営課掌握分・平成 22 年度 284 件）でした。

【図書館ホームページ アクセス件数】

(件)

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
図書館 ホームページ ※蔵書検索ページアクセス数を除く	5,983,939	6,387,885	8,152,936	8,070,147	7,493,393
図書館蔵書検索ページ (検索回数)	6,734,980	7,865,861	8,800,644	9,622,859	10,377,671

【メールマガジン登録アドレス数】

平成 23 年度
513 件

ウ 市立図書館創立 90 周年記念事業をはじめとした企画事業の実施

(詳細は、「5 平成 23 年度利用統計(10)企画事業、その他の事業」(P. 22～P. 29 参照))

(ア) 市立図書館創立 90 周年記念事業

平成 23 年 6 月に横浜市立図書館は創立 90 周年を迎えました。これを記念して、市民とともに図書館の歩んだ 90 年を振り返るイベントを開催しました。

パネルディスカッション(6月11日、10月1日、中央図書館)では、事前に市民のみなさまから募集したヨコハマにまつわるエピソードをもとに、パネラーと客席の参加者が思い出を語り合い、かつての横浜の様子に思いを馳せました。参加された方からは、「会場に来た人も発言できてよかった」、「実際に体験者から話が聞くことができよかった」という声を多くいただきました。パネルディスカッションの様子をまとめた記録集も 12 月に発行しました。

地域図書館でも 90 周年にちなんだ記念講演会を開催しました(11 月 5 日・27 日 栄図書館、1 月 21 日 金沢図書館)。また、「むかしのあそび講習会」(8 月 7 日・28 日 中央図書館)や、企画展示「絵本が語り継ぐ 90 年の歴史」(中央図書館他計 11 館で巡回展示)、「野毛の 90 年」(7 月 7 日～8 月 31 日 中央図書館)も開催し、絵本や写真等を通じて市立図書館の 90 年の歩みを紹介しました。



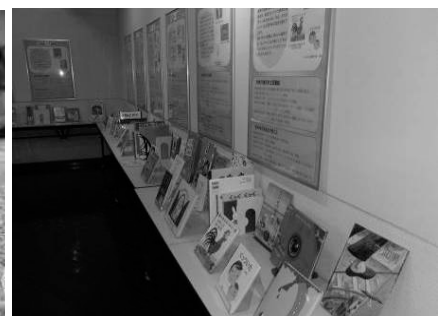
記念しおりを発行・配布しました



パネルディスカッション(第1回)(中央図書館)の様子



「むかしのあそび講習会」(会場:市長公舎) ペーゴマやけん玉、紙芝居の実演を楽しみました

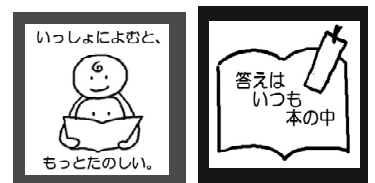


展示「絵本が語り継ぐ 90 年の歴史」(中央図書館)

(イ) 統一キャンペーン

平成 23 年度も統一キャンペーンを春・夏・秋の計 3 回実施しました。

春には、子どもとその保護者を対象にした「子ども読書の日(4月23日)イベント」(4月19日～5月15日)を行い、全館で特別おはなし会や、企画展示「新学期、読んでみようこんな本」のいずれかの事業を実施しました。夏休み期間には「夏休みイベント～としょかんで夏休み～」を実施しました(7月16日～8月31日)。子ども向けには「調べもの支援」、親子向けには「家読み支援」という図書館の機能をPRするため、子ども向け、親子向けそれぞれに統一のキャッチコピーとロゴを作成し、子どもとその保護者に向けた事業を行いました。秋には「秋のイベント」(10月27日～11月30日)を行い、歴史講座(旭・山内図書館)、介護講座(南図書館)、一般向け業務体験(保土ヶ谷・戸塚図書館)、企画展示(山内・都筑・泉・瀬谷図書館)などを実施しました。



夏の統一キャンペーンロゴ
(左:親子向け、右:子ども向け)

(ウ) 古川宇宙飛行士関連パネル巡回展

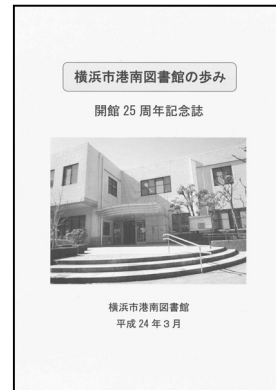
横浜市中区出身の古川宇宙飛行士が、6月から国際宇宙ステーションに滞在しました。これをうけて(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)から横浜市市民局を通じて提供のあった、古川宇宙飛行士の等身大パネルや、宇宙でのミッションを紹介したパネルを6月から12月まで14館で巡回展示しました。パネルと合わせて各館が所蔵する宇宙に関する本の展示も行いました。中図書館では古川宇宙飛行士の帰還時の様子の中継で放映するパブリックビューイング(11月22日)も開催しました。



古川宇宙飛行士関連パネル展示の様子
(山内図書館)

(エ) 周年記念事業

旭・港南図書館(開館25周年)で周年記念事業を実施しました。旭図書館では、よこはま動物園ズーラシアや相模鉄道の協力のもと、パネル展示やトークイベントを行いました(7月)。港南図書館では、港南の昔話にちなんだ企画展示(1月)とフリートーク(2月)のほか、25周年の歩みをまとめた記念誌も発行しました(3月)。



港南図書館25周年記念誌



旭図書館25周年記念「ズーラシアのどうぶつたち」ズーラシア職員によるトークイベントを行いました

(オ) そのほかの事業

複数館が合同で同一の企画事業を行うことによって事業の開催地域を広げるとともに、広報活動や作業を分担することにより、効率的で効果的な事業の実施を図りました。

具体的には、図書館のマスコットキャラクターを共有した「子どもの日読書イベント」(4~5月、中・金沢図書館)、企画展示「わたしたちの町を走ったチンチン電車」(9月~10月、中・磯子図書館)、地域に関係の深い地図を紹介する巡回展示と講座「地図でわが町再発見」(10月~11月、港北・緑・都筑図書館)を合同で行いました。



展示「わたしたちの町を走ったチンチン電車」
(中・磯子合同企画)(写真:中図書館)

(4) その他のトピックス

ア 東日本大震災への対応

(ア) 輪番休館及び開館時間短縮の実施

東日本大震災とその後の福島第一原子力発電所の事故を受け、平成23年度は全国的に電力の節減に取り組む必要がありました。経済産業省の発表した電力消費量平成22年度比15%減という目標と、電気事業法による大口需要家への電力使用制限を受け、横浜市は平成23年7月1日から9月30日の間、市民利用施設を平日週1回輪番で休館する方針を決定しました。市立図書館は中央図書館を除く17館で火曜日から金曜日までの1日を休館日とし、夏期の電力不足による突発的な停電や計画停電を回避できるよう工夫しました。また平日の開館時間を4月15日までは全館午後5時まで、それ以降も中央・山内図書館は午後7時まで短縮しました。※1 全館が通常通りの開館時間に戻ったのは9月21日、電力使用制限が解除されてからでした。※1 通常火曜日から金曜日までの開館時間は、中央・山内図書館は午後8時30分、地域図書館は午後7時まで。

(イ) その他の対応

市内の一時避難場所となっている施設に図書を提供し、図書コーナーを設置しました。地域図書館では地震関連図書の展示や水道水に含まれる放射性物質の測定結果などの情報を掲示するなど、市民への情

報提供に努め、被災者への図書館カードの発行なども実施しました。また図書館海援隊の活動を通じて被災地からのレファレンスを受け付けました。

中央図書館では「電力関係リンク集」、「原子力関連リンク集」、「震災・防災関係リンク集」に加え、「放射能」に関するブックリストを作成し、ホームページで公開しました。また、一年を通じて、企画展示「震災以降の日本—キーワードで知る—」を実施しました。この展示では、毎月テーマを変えながら、東日本大震災についてや、震災が与えた影響、今後の見通しについて参考になる資料を紹介するとともに、展示の様子をホームページでも公開しました。震災から一年が経過した平成 24 年3月には、今までに紹介した情報や資料を集めた展示を行いました。

またその他にも、8月から福島県を通じて、地方新聞「福島民報」「福島民友」の寄贈を全館で受け入れ、広く市民に被災地の情報提供を行いました。また平成 24 年2月から3月にかけて全館の放射線値を測定し、結果を市立図書館ホームページで公開しました。



展示「震災以降の日本—キーワードで知る—」
(中央図書館)
1年を通じて資料や情報を提供しました

(5) 関連記事

夏季の輪番休館関連記事

(著作権保護のため、新聞記事のホームページへの掲載は行っていません)

『読売新聞(横浜版)』

2011(平成 23)年5月 18 日(金)31 面
(ヨミダス歴史館より)



『タウンニュース(緑区版)』

2011(平成 23)年9月 22 日(木)号



『タウンニュース(戸塚区版)』

2012(平成 24)年3月 8 日(木)号

市立図書館創立90周年記念事業関連記事

(著作権保護のため、新聞記事のホームページへの掲載は行っていません)

市中央図書館

書聖・中林梧竹を特集

10月17日(月)まで企画展

市中央図書館(西区老松町)では1階展示コーナーにおいて、10月17日(月)まで「書聖・中林梧竹」を企画展として開催している。中林梧竹(1827-1913)は、同氏バトロンであった西区戸部の海老塚四郎兵衛神奈川県議會議員、奈川縣議會議員、横浜市長の邸宅に「鳳彩」の語をより、漢書の長く滞り、多くの作品を残した。

『タウンニュース
(中区・西区版)』
2011(平成23)年
10月13日(木)号

横浜にゆかりのある人物である。今展では、古今の神品と絶賛され明治天皇に奉獻した千義之十七帖の臨書などと同所蔵の作品が並ぶ。震災をくぐりぬげ保管されてきた梧竹の貴重な書を見ることが出来る。開館時間は火、金曜が午前9時30分、午後8時30分。分、月、土、日祝は午後5時まで。期間中は休館なし。問合せは同館調査資料課 ☎045・262・7338まで。

パネル巡回展示関連記事

(著作権保護のため、新聞記事のホームページへの掲載は行っていません)

『読売新聞(横浜版)』
2011(平成23)年
5月18日(金)31面

「丘のヨコハマ写真館」



70年代のJR横浜線・中山駅南口駅前広場の様子。現在は、駅ビルになっている周辺(市立緑図書館提供)

横浜は、港だけじゃない。鶴見川の洪水(二八八年)や、横濱市内の北部に位置する都筑、港北、緑の三区の図書館が、昭和初期から現在までの街が変わって行く様子を知らせてもらおうと、当時の写真を集め、ホームページ(H.P.)上で「丘のヨコハマ写真館」と題して、公開を始めた。

「写真館」の開設記念として、同館で一、十四日、過去と現在で同じ場所を撮影した写真約二十点を展示するイベントを開く。港北図書館でも二十一日(三月十八日)に開催する。

緑図書館の担当者は「今後も、日々の風景を残していきたい。写真は市民から集めるなどして随時、公開していく」と話した。

市立図書館HPで公開

緑図書館によると、区の広報などで撮影された写真約三百枚を市立図書館のHP上で公開。三区の地図や年代から、写真の検索もできる。年代は「一九二六年以前」から「二〇一〇年代」まで、九つに分類されている。

(荒井六貴)

『東京新聞(横浜版)』

2012(平成24)年2月1日(水)20面